

# わかしよう

## 〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

若草小学校HP



文責

校長 時田直人

## 小中一貫教育について

義務教育は、小学校の6年間・中学校の3年間の9年間です。南アルプス市では、この9年間で小中一貫として、子供たちを教育していくという方針をたて、各中学校区ごと学習を進めています。小学校は学級担任制、中学校は教科担任制と学校の仕組みが違います。教師の交流にも少し壁があります。そのような課題に対して、子供たちのためにどのような支援を行い教育活動を行っていけばよいのか、若草南小学校・若草中学校の先生たちと共同で研究を進めています。中学校へのスムーズな接続ができるように、お互いに授業を参観し指導方法を学んでいます。児童と生徒の交流も計画的に進めています。その様子を紹介します。



## 若草中学生の学習発表会

若草中学生が「SDGs」の学習の成果を、5・6年生に発表してくれました。ウクライナ戦争のこと、ジェンダー平等の観点から若中の制服が変わること、ペットボトルキャップ集めとワクチンのことなどたくさんの学びがありました。子供たちからは、平和や環境の大切さ、ジェンダーなど一人ひとりを大切にしていくことなど、多くのことを考えさせられました。中学生の発表はとても上手で、これからの学習の参考にもなりました。

## 若草中学校生徒による陸上練習の指導

6年生は毎年10月に若草・橿形・甲西の9校の小学生が集まり、橿形総合公園陸上競技場において、陸上記録会が行われます。100mや走り幅跳びなど、自分の得意な競技に出場します。その練習に若草中学校生徒が、指導に来てくれました。スタートの方法や長距離のペース配分など、細かな点を直接指導していただき、6年生にとってはとても有意義な時間でした。当日は記録が伸びた喜びであふれていました。男子の400mリレー(上田・有泉・野田・岡田)男子走り幅跳び(保坂)は見事1位となりました。どの種目もすべて入賞し(総勢29名)、充実した記録会となりました。



## 小中連携あいさつ運動 (若草小 若草南小で実施)



10月、若草中学校生徒が小学校の児童会役員といっしょにあいさつ運動に取り組みました。若草中学校の生徒会と本校児童会が中心となり、校門前や玄関前などで、活動を行いました。「おはようございます」と元気のよい声が響きました。コロナ禍において、なかなか十分な活動ができない面もあります。その中でも活動の意義を見出し計画し、実践してきました。

今回の活動で5・6年生の児童会役員は、計画の段階からたくさんのお話を学びました。中学生の規律ある行動や、よりよい運動になるようにと臨機応変に活動できる姿は立派でした。6年生は中学校に向けて、5年生は最高学年6年生に向けてとても貴重な経験をしました。

## 地域ふれあいあいさつ運動

若草小学校区の各自治会の役員さんを中心に、各地区ごと「あいさつ運動」が行われました。地域の人には早朝より活動のご協力いただき、感謝しています。地域の人たちに声をかけられ、見守られている思いが伝わってくる内容でした。

小中の9年間を見通して、学校と家庭と地域とが一体となって、子供たちの成長を見守りたいと思います。



## 追伸 ごみ拾い



前回、ごみ拾いの輪が広がっていることをお知らせしました。その広がりが4年生を中心に続いています。チラシやプラカードも作り、全校に呼びかけています。お菓子の袋から、登校道の一升瓶まで、連日たくさんのごみが集まっています。小さな積み重ねがやがて大きな輪になることでしょう。ゴミ拾い隊のみなさん、いつもありがとう。



縄跳びで、1分間に何回跳べるかチャレンジしました。低学年の男の子に「100回跳ぼうよ。」と声をかけると、「無理だよー」とそんなに跳べるわけないという顔をしていました。さあチャレンジ始まり。そばで回数を数えてあげました。70回くらいから疲れが見え始めました。50秒を超えカウントダウン。最後まで跳び続けました。応援してあげると見事100回達成。満面の笑みがこぼれました。

校長室の戸棚に、開校以来の卒業アルバムが保存されています。「校長先生、お父さんが校長先生のこと知ってるそうです。」「校長先生、お母さんがこの学校の卒業生です。」子供たちが話してくれます。実は何人かの保護者に教え子がいます。そのような関係で、卒業アルバムをいっしょに見ることがあります。自分たちと同じくらいの年齢のお父さんやお母さんの写真を目にして、とても喜んでいました。タイムスリップしたような感覚で親の写真を見て、子供たちは微笑む姿にお父さんお母さんを「思う気持ち」を感じることができました。